

(参考2)

第19回 熊野川懇談会 議事骨子

開催日時/場所 令和4年2月13日(日) 10:00~11:30/Web開催
出席者 委員 13名 2名欠席(熊野川懇談会委員名簿 参照)、河川管理者等 7名

前回の熊野川懇談会に引き続き、令和3年12月15日に公表を行った「新宮川水系(熊野川)熊野川河川整備計画(原案)」(以下、「原案」という。)について、意見交換を行った。

原案に意見する場は今回の懇談会をもって終了することが確認された。

1. 新宮川水系(熊野川)河川整備計画(原案)に対する意見への対応方針

紀南河川国道事務所から懇談会からのご意見への対応方針を説明し、意見交換を行った。

委員からの主なご意見は(別紙)のとおり。

2. スケジュールについて

紀南河川国道事務所から懇談会およびパブリックコメント・公聴会でのご意見を集約し、対応方針に沿った「新宮川水系(熊野川)河川整備計画(案)」の作成後、関係行政機関のご意見を踏まえて、策定まで進めることを説明した。

以上

(別紙)

◆委員からの主なご意見 (■委員からのご意見)

＜新宮川水系(熊野川)河川整備計画(原案)に対する意見への対応方針＞

- 計画高水の23,000m³/sに対して、河川整備計画では段階的な整備目標として22,000m³/sにしたのかを、背景や理由を記載しないと理解が得られないと思う。
- 段階的な河川整備については、整備の進捗の見える化をしっかりと、住民がよく理解でき、流域の方々に関心を持ってもらえるように、検討してもらいたい。
- 総合的な土砂管理の記載については、上流、中流、下流で関係者が連携して対策していくことを図中にも表現した方が良い。
- デジタルトランスフォーメーションの危機管理体制の構築として、水位予測やAIを使った浸水解析を実施することを是非とも進めてもらいたい。また、報道機関との連携をしつつ、住民に被害想定をどう発信していくのが、とても大事な部分だと思う。
- 河川整備計画を流域全体で取り組むことを強調しながら、PRしていくということが重要な点であると思う。加えて、地域の住民の方々がどれだけ理解し、どれだけ一緒に取り組むかがポイントかと思うので、流域全体で、流域の住民の方々を巻き込みながら今後取り組んでいくところを意識してもらいたい。
- 平成23年に大水害が起り、水害を防ぐことは命を守るために大事である。一方では、河川の自然環境に対する教育とか、そういうのも大事ではないかと思う。
- 井田海岸の養浜事業についても連携して継続してもらいたい。
- 国交省のクリーン大作戦、7月の河川の美化月間に合わせて、本川と市田川、下流から上流部まで皆さんボランティアと清掃しているが、子供たちにもまた一緒に河川清掃に協力してもらい、親しんでもらえるようにコイの放流とかもしていきたいと思っている。
- 河川整備を進めることによって、地域の発展につながるような将来的な全体像、発展にどうつながるかというのがイメージできるように、もう少し強くメッセージとして発信できたらよかったかなというふうに思う。
- 総合土砂管理については県や民間企業などが関わるため、国交省でないとコーディネートできない問題もいっぱいあるので、これからぜひ具体的な対策に向けて頑張ってもらいたい。
- 「熊野川」は熊野信仰を育て、熊野川流域の物流を担ってきた非常に重要な経済を担ってきた河川名である。その名称が残るよう、新宮川水系と熊野川の2つ出てくることを将来的な課題として取り組んでいただけたらと感じた。

(委員長より総括)

- 長きにわたる懇談会であったが、各委員からご意見をもらい意見交換を尽くすことができたかと考える。原案に意見する場合は本日の懇談会をもって終了としたい。
- 河川整備計画では目標に対して進捗点検を行うことになっている。河川管理者は適切に河川整備計画の進捗状況を点検し、整備計画の内容が実施できるようお願いしたい。

以 上

熊野川懇談会委員名簿

(五十音順・敬称略)

| 氏名 | 専門分野 | 所属 | 備考 |
|--------------------|--------------------|---------------------------------------|-------|
| 井伊 博行 い い ひろゆき | 水循環、水質 | 和歌山大学 システム工学部 教授 | |
| 泉 諸人 いずみ もろと | 歴史・文化、 観光、林業 | 浦島観光ホテル株式会社 取締役 浦木林業株式会社 代表取締役 | |
| 加治佐 隆光 かじさ たかみつ | 水資源工学 | 三重大学大学院 生物資源学研究科 教授 | |
| 岸上 光亮 きしがみ みつよし | 農業経済、 地域政策 | 和歌山大学 食農総合研究教育センター 教授 | |
| 清岡 幸子 きよおか ゆきこ | 地域の特性に詳しい (新宮市) | 元新宮商工会議所女性会 会長 | |
| 高須 英樹 たかす ひでき | 植物、生態系 | 和歌山大学 名誉教授 和歌山県立自然博物館 館長 | 欠席 |
| 瀧野 秀二 たきの しゅうじ | 水生生物、植物 | 熊野自然保護連絡協議会 会長 熊野川 河川水辺の国勢調査アドバイザー | 委員長代理 |
| 立川 康人 たちかわ やまと | 水工学 水文・水資源学 | 京都大学大学院 工学研究科 教授 | |
| 中島 千登世 なかしま ちとせ | 地域の特性に詳しい (新宮市) | 河川を美しくする会 副会長 | |
| 早坂 豊司 はやさか とよし | 広報・報道 | 株式会社テレビ和歌山 報道制作本部長 | |
| 藤田 正治 ふじた まさはる | 河川・砂防、 森林工学 | 京都大学 防災研究所 教授 | 委員長 |
| 松尾 直規 まつお なおき | 河川水質 | 中部大学 名誉教授 | |
| 森 信人 もり のぶひと | 海岸防災工学 | 京都大学 防災研究所 教授 | |
| 山本 殖生 やまもと しげお | 熊野の歴史・文化 ・信仰 | 国際熊野学会 代表委員 熊野三山協議会 幹事 | |
| 横田 浩 よこた ひろし | 発電水力、 水源地域対策 | エネルギー戦略研究所株式会社 取締役 | 欠席 |